

2023. 10. 20

## 宗教者 ガザ攻撃中止向け 政府に行動を要請

立憲野党の共同で改憲・大軍拡を阻止しようとして「平和をつくり出す宗教者ネット」は19日、参院議員会館で集会を開きました。

日本キリスト教協議会総幹事の金性済（キム・ソンジエ）さんは、イスラエル・パレスチナ問題に触れ、暴力の連鎖に抗議し「日本は世界政治の中でどういう立ち位置と姿勢

を持って、何をやるかとしていくか顧みる必要がある」と語りました。同日朝、内閣府に対しイスラエルによるパレスチナ自治区ガザへの攻撃を中止するための行動を要請したと報告しました。

群馬諸宗教者の集い代表の小野文瑠（ぶんこう）さんは、群馬4区での市民と野党の共同について講演しまし

た。2021年の衆院選では野党共闘が悔しい結果となったと述べ、次期衆院選に向け、市民が中心となり野党を橋渡しする決意を語りました。

また、自公政権には統一協会（世界平和統



イスラエル・パレスチナ問題について発言する金さん（左から2人目）  
19日、参院議員会館

一家庭連合）や創価学会などの後ろ盾があることを指摘。宗教者の役割を強調し「宗教者が市民団体と手をきちんと握り合ってやっていこう」と呼びかけました。

千葉4区で今月に発足した市民連合の朝倉真知子さんが、経験を発表。女性や若者が活動に参加し、活気あふれる現場の様子を語り「市民の力を発揮したい」と意気込みました。

日本共産党の紙智子参院議員が参加。市民と野党の共闘を再構築する意義を述べ、「皆さんと連携しながら悪政を変えていきたい」と語りました。